第2号　平成23年6月　　山北調査設計株式会社

山北ニュース

発　行　元
山北調査設計㈱
〒963-0204
福島県郡山市土瓜1-209
TEL：024-951-7293
FAX：024-951-7273
http://www.yamakita.tv

大人と子ども、笑顔の受け渡し「ひまわりプロジェクト」実施

平成２３年５月２９日（日）、福島県会津東山温泉くつろぎ宿・千代滝および新滝にて、当社ボランティア団体ほほえみクラブ主催、ふくしま県かえっこ連絡会のご協力のもと「ひまわりプロジェクト」が実施されました。

ほほえみクラブ ひまわりプロジェクト
がんばっぺ ふくしま!

→第一回会場となった「千代滝」ロビーにて。参加したメンバーと、大熊町の子どもたち。

「生きていていいのかな…」

　これは、平成２３年３月１１日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震で被災した小学３年生の言葉です。

　翌日１２日は卒業式の予定でした。学校の校庭で遊ぶ子どもたちに、先生は「明日があるから早く帰りなさい」と諭したそうです。その後、先生の言うことをきちっと守って帰宅した子は、ほとんどが津波の犠牲者となりました。

→４月初旬のいわき市。津波によって建物が崩壊、残がいが積み重なっている。

→４月中旬のいわき市

　４月上旬、郡山の有志が集い、いわき市平で炊き出しを行った際に林社長が出会った小学生。彼は続けてこう言いました。

「先生の言うことをちゃんと守った良い子が死んでしまって、言うことを聞かなかった僕が生き残っている。本当に生きていていいのかな…」

　避難所で遊ぶ子どもたちは、表面的には明るく元気そうに見えても、心のどこかに罪悪感が残っています。未来ある子供たちに、罪の意識を背負ったままこれからの人生を送らせたくありません。

　ほほえみクラブは、そんな子供たちに生きる意味と役割を伝えたいと思い、ひまわりプロジェクトを立ち上げました。

→千代滝にて準備中の一枚

　当社製品ほほえみ小鉢に応援メッセージカードをつけ、避難している子どもたちにプレゼントします。まずは大人から子どもへ元気を。小鉢に絵付けをしてもらい、大人はひまわりの種まき作業を。ひまわりの世話は子どもたちに任せ「役割」を与えます。

　夏、太陽に向かって力強く咲くひまわり。今度は子どもから大人へ元気の受け渡しです。

　この企画に個人法人問わず大勢の方々にご賛同をいただき、会津東山温泉・千代滝さんのご協力により、避難している大熊町の皆さんへ笑顔を贈るため、実現可能となりました。